



発行：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会



会長メッセージ

会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。今年の夏も猛暑で大変でしたが、気温も下がり秋が訪れました。過ごしやすい青空高く実りの季節ですね。

コロナ禍で不自由な生活が2年にもおよぶ中、それまで目いっぱいトコトン楽しんでいた頃が懐かしく、寂しさを感じている毎日です。

猛暑やコロナ感染者が毎日最多を更新する中で、物議を醸した東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。私はスポーツ観戦が大好きで、テレビに釘付けで楽しみを享受した毎日でした。アスリート達が与えてくれる感動、パラスポーツの魅力にとりつかれました。年が明ければ今度は北京で冬期オリ・パラが開催です。とても楽しみです。さて、ゆずり葉の会ですが、感染状況に左右されながらも今のところ計画通りに運営されております。受託事業が多くなる中、「求められ私達にできる社会貢献」と思い、多くの会員の協力をいただきながら可能な限り要請に応じております。

先日、日本看護協会の福井会長が、オリ・パラに看護師派遣を組織委員会から依頼されて、このように述べておりました。『「人々がいるところには看護を必要としている人がいる」という信念の下、この日本の地でオリンピック・パラリンピックが開催されるのであれば、そして人々が集うのであれば、そこには看護を必要とする人が必ずいる。看護職として、それらに 대응する準備が必要であると考え対応しました。』（協会ニュース「月刊看護10月号」から）

“求められたら、保健師として出来ることには応えたい” いつも私が思っている気持ちに合致し、福井会長に大いに共感したところです。

今年度の交流・研修会は、白神山地で行うこととして計画し、担当が詳細なスケジュールを準備し、20名を超える参加申し込みがあり、とても楽しみにしておりました。しかし県の「感染警戒レベル4」の状況が続き、毎日感染者の発表がある状況では開催するのは難しく、やむなく“中止”の判断をさせていただきました。とても残念ですが来年こそは開催したいものです。

季節の変わり目です。体調を崩さないよう気をつけましょう。自戒を込めて皆様もご自愛のほどをお願いします。

会長 太田 敦子 (R3.10記)

○ 令和3年度 第1回幹事会について

7月9日(金) 午後1時から市町村会館において、第1回幹事会を開催しました。幹事・監事等全員の出席のもと協議を行うことができました。

主な協議事項は次のとおりです。各役員からその概要について説明をし、事業の進め方等について各幹事から了解をいただきました。

(1) 自主事業 研修会・交流会について

10月24日～25日 藤里町の「岳岱・釣瓶落峠」散策を計画。

※9月10日の役員会で、現時点で県内のコロナウィルス感染症の発生が減少していない状況を踏まえ、中止することを決定しました。

(苦渋の決断でした・・・) 会員20名を超える参加申込みがあり、非常に残念でしたが、来年度こそは実現できるよう祈るばかりです。

(2) 受託事業について

- ①後期高齢者健康づくり訪問事業
- ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
- ③フレイル健診



(3) 従事者の派遣要請について

- ①被災者支援事業
- ②高齢者医療制度円滑運営事業(※R3年度新規。概要は別に記載。)

○ 令和3年度環境・保健事業功労者表彰(知事表彰)について 次の方々が、長年にわたりゆずり葉の会の会員として保健事業に参画された功績が認められ知事表彰を受賞されます。誠におめでとうございます。



受賞される方々 伊藤幸子さん、齊藤フデさん、松田かよ子さん

○ 令和3年度の主な活動と活動へ従事する会員(予定)

前号では、その時点で確定している委託事業及び従事する会員についてお知らせしましたが、その後に確定した内容をお知らせします。

(1) 県後期高齢者医療広域連合「高齢者医療健康づくり訪問指導事業」(一部を受託)

(※対象地域：能代市、由利本荘市)

能代市：松田かよ子

由利本荘市：河西淑子、大場とし子、正木みえ子、宝池律子、本間美佐子

(2) 五城目町「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る事業」(一部を受託)

※ポピュレーションアプローチ(講話)＋ハイリスクアプローチ(訪問)

佐藤潤子、太田敦子、鑑妙子、岸マサ、春日静子、大島良子、庄司光子、清水昱子(訪問)



○ 「いきいき百歳体操」の実施地区が増えました。

1カ所目は五城目町森山地区です。9月から始まり地区公民館で毎週実施しております。

2カ所目は秋田市の遊学舎で10月から実施しております。これは東日本大震災の被災者の方からの要望により始まったものです。毎週実施され自主グループに発展させていきたいと担当者が話しておられました。これで4地区7カ所になりました。また、由利本荘市の一町内でも体験体操を行いました。

DVDを見ながら、椅子に座って無理なく行うこの筋力体操やお口の体操は、年齢問わず誰でもできるまさに高齢者に合った体操だと思っております。

実施希望の地区がありましたらお知らせください。役員が出向いて一緒に行いたいと思います。



五城目町森山地区



秋田市遊学舎

○ アイデアを募集します～「新・減塩音頭」ゆずり葉の会オリジナル(会員作詞)の活用について～

秋田県健康づくり県民運動推進協議会(事務局：県健康づくり推進課)から「新・減塩音頭(秋田音頭替え歌)」の歌詞の募集があり、会員の皆さまから寄せられた歌詞

(38編)を応募しました。残念ながら選からはもれてしまいましたが、これらの歌詞をどこかで何かの機会に活用できないか役員会で話し合いましたが良い案が出ず、会員の皆さまから御意見をいただくこととしました。

アイデアがありましたら事務局までお知らせくださるようお願いします。



なお、皆さまから応募いただいた歌詞は別紙のとおりです。

○ 東北地方在宅保健師等連絡会議の開催について

今年度は、新潟県が当番となり12月3日（金）

「コロナウィルス流行下での活動について」をテーマに開催されます。本来は当番県で開かれる会議に出席して意見交換や交流を深めるものですが、コロナ禍のためWeb形式の会議になります。

当県からはゆずり葉の会役員が参加します。



○ 高齢者医療制度円滑運営事業（※R3年度新規）について

「かかりつけ医と医療保険者との協働による「健康なまちづくり」構想（モデル事業）」

この事業は、かかりつけ医が社会的な課題を持つ患者（孤独や生活困窮者）を問診票等で選定し、その課題解決のためにリンクワーカーと称される保健師等が、患者に必要な社会資源を導入し（社会的処方）、健康でより良い生活を送ることを目指します。現在、7人の会員が従事しています。

従事会員

庄司光子、佐藤潤子、太田敦子、大島良子、幸坂徳子、佐藤キヤ子、澤木みわ子

○ 会員調査についてのお願い

2年に一度、12月に実施している会員調査の調査票を後日お送りします。調査票の回収率は毎回6割程度のため、調査について会員の皆さまの御理解、御協力をよろしくお願ひします。調査結果は今後の会の活動に活かしていきたいと思ひます。

○ 事務局（会計担当）のつぶやき・・・

会計を担当した当初は、通帳の少ない残金を気にしながら支払いをしていました。

最近は、残金を気にせず支払いができます。というのは、様々な事業が当会に委託されているからです。会員の協力により事業を円滑に行うことができ、委託料の中から事務手数料を計上することができ、当会の大きな財源になっています。昨年度はこれまでにない繰越金ことができました。また、事業に関わることで自分と同じような年代の参加者とも交流でき、これも楽しい時間です。（庄司光子）



手洗い、室内の換気、三密を避けるなど感染予防に気を配りながら、元気に冬を迎えましょう。

